

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	888	0	883	0	883	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	18	0	14	0	20	0
米粉用米	17	0	9	0	12	0
新市場開拓用米	0.5	0	0	0	2	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	51	0	44	0	53	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	0	0	1	0	2	0
飼料作物	2	0	1	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	17	0	20	0	22	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	1	0	3	0
高収益作物	9	0	9.5	0	11	0
・野菜	7	0	7	0	8	0
・花き・花木	2	0	2	0	2	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	0	0	0.5	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	1	0	3	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	令和5年度	令和8年度
				前年度（実績）	目標値
1	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	低コスト生産支援	取組面積	－	9.0ha
2	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	低コスト生産支援 （団地化加算：団地化面積50a以上1ha未満）	取組面積	－	18.0ha
3	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	低コスト生産支援 （団地化加算：団地化面積1ha以上）	取組面積	－	60.0ha
4	そば	生産性向上支援	取組面積・単収	16.4ha 40.0kg/10a	3.0ha 55.0kg/10a
5	そば	生産性向上支援 （団地化加算：団地化面積50a以上1ha未満）	取組面積・単収	－	2.7ha 55.0kg/10a
6	そば	生産性向上支援 （団地化加算：団地化面積1ha以上）	取組面積・単収	－	14.5ha 55.0kg/10a
7	野菜・花き・花木・その他穀物類	作付拡大支援	作付面積	8.9ha	11ha
8	ユリ（切り花）	生産性向上支援	団地化面積・単収	1.1ha 上位等級6,045本/10a	1.7ha 上位等級8,350本/10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:新潟県

協議会名:関川村農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	低コスト生産支援	1	7,000	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	別紙に定める低コスト生産メニューのうち、3つ以上に取り組むこと
2	低コスト生産支援 (団地化加算:団地化面積50a以上1ha未満)	1	8,000	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	別紙に定める低コスト生産メニューのうち、3つ以上に取り組むこと、品種ごとの団地化50a以上1ha未満
3	低コスト生産支援 (団地化加算:団地化面積1ha以上)	1	9,000	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	別紙に定める低コスト生産メニューのうち、3つ以上に取り組むこと、品種ごとの団地化1ha以上
4	生産性向上支援	1	4,000	そば	排水対策
5	生産性向上支援 (団地化加算:団地化面積50a以上1ha未満)	1	5,000	そば	排水対策、団地化50a以上1ha未満
6	生産性向上支援 (団地化加算:団地化面積1ha以上)	1	6,000	そば	排水対策、団地化1ha以上
7	作付拡大支援	1	7,000	野菜・花き・花木・その他穀物類	作付出荷
8	生産性向上支援	1	7,000	ユリ(切り花)	30a以上の作付取組

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	1
使途名	低コスト生産支援					
対象作物	米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米・加工用米 ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	7,000円/10a （上限8,000円/10a）					
課 題	当地域においては、長年主食用米の全量取引が順調に推移してきたことと、兼業農家が全体の98%を占めていることがあり、非主食用米の取組農家の増加には至っていなかった。しかし、近年の主食用米の消費減少や高齢化による農家数の減少により、担い手への集中負担増、農地維持力の低下や農家所得の不安定につながる恐れがある。農家経営の安定化を進めるためには、主食用米と同等の収益性を確保する必要があるため、本支援によりコスト低減を推進する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・取組面積	目標	-	7.2ha	8.0ha	9.0ha
		実績	-	-	-	-
内 容	低コスト生産の拡大に向け、加工用米、米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米への生産において、低コスト生産メニューに対応した農家へ助成をする。					
具体的要件	対象作物 ・米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米については、新規需要米取組計画の認定を受けていること。加工用米については加工用米取組計画の認定を受けていること。 取組の要件 ・別紙に定める低コスト生産メニューの内、3つ以上に取り組み、実績書類を提出すること。 ・整理番号2・3との重複は不可。重複した場合は、当初単価が高い整理番号の支援を優先する。					
取組の 確認方法	助成対象者 営農計画書で確認。 対象作物 新規需要米認定結果通知書、加工用米取組計画認定結果通知書により確認。 助成対象水田 営農計画書、現地確認。 取組の要件 取組を確認できる写真、種子や資材の購入伝票、栽培記録や作業日誌の写しの提出により確認。 出荷・販売 米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米については、新規需要米生産集出荷数量一覧表により確認。 加工用米については加工用米生産集出荷数量一覧表により確認。					
成果等の 確認方法	・取組者が提出する、低コスト生産取り組み実績 ・令和6年12月末日までに、新規需要米生産集出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
 ※ 令和6年度から新規に設定した目標については、令和5年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会			整理番号	2	
使途名	低コスト生産支援（団地化加算：団地化面積50a以上 1ha未満）					
対象作物	米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米・加工用米 ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	8,000円/10a （上限9,000円/10a）					
課 題	当地域においては、長年主食用米の全量取引が順調に推移してきたことと、兼業農家が全体の98%を占めていることがあり、非主食用米の取組農家の増加には至っていなかった。しかし、近年の主食用米の消費減少や高齢化による農家数の減少により、担い手への集中負担増、農地維持力の低下や農家所得の不安定につながる恐れがある。農家経営の安定化を進めるためには、主食用米と同等の収益性を確保する必要があるため、本支援により集積化を進め、コスト低減を推進する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・取組面積	目標	-	15.5ha	16.5ha	18.0ha
		実績	-	-	-	-
内 容	低コスト生産の拡大に向け、加工用米、米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米への生産において、低コスト生産メニューに対応した農家へ助成をする。					
具体的要件	対象作物 ・米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米については、新規需要米取組計画の認定を受けていること。加工用米については加工用米取組計画の認定を受けていること。 取組の要件 ・別紙に定める低コスト生産メニューの内、3つ以上に取り組むこと。取り組み実績を提出すること。 ・50a以上1ha未満の団地化を図ること。 ・整理番号1・3との重複は不可。重複した場合は、当初単価が高い整理番号の支援を優先する。					
取組の確認方法	助成対象者 営農計画書で確認。 対象作物 新規需要米認定結果通知書・加工用米取組計画認定結果通知書により確認。 助成対象水田 営農計画書、現地確認。 取組の要件 取組を確認できる写真、種子や資材の購入伝票、栽培記録や作業日誌の写しの提出により確認。団地化については航空写真等により確認。 出荷・販売 米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米については、新規需要米生産集出荷数量一覧表により確認。加工用米については加工用米生産集出荷数量一覧表により確認。					
成果等の確認方法	・取組者が提出する、低コスト生産取り組み実績 ・令和6年12月末日までに、新規需要米生産集出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。 ・加工用米については加工用米生産集出荷数量一覧表により確認。					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和6年度から新規に設定した目標については、令和5年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	3
使途名	低コスト生産支援（団地化加算：団地化面積 1 ha以上）					
対象作物	米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米・加工用米 ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	9,000円/10a （上限10,000円/10a）					
課 題	当地域においては、長年主食用米の全量取引が順調に推移してきたことと、兼業農家が全体の98%を占めていることがあり、非主食用米の取組農家の増加には至っていなかった。しかし、近年の主食用米の消費減少や高齢化による農家数の減少により、担い手への集中負担増、農地維持力の低下や農家所得の不安定につながる恐れがある。農家経営の安定化を進めるためには、主食用米と同等の収益性を確保する必要があるため、本支援により集積化を進め、コスト低減を推進する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・取組面積	目標	-	44.0ha	50.0ha	60.0ha
		実績	-	-	-	-
内 容	低コスト生産の拡大に向け、加工用米、米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米への生産において、低コスト生産メニューに対応した農家へ助成をする。					
具体的要件	対象作物 ・ 米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米については、新規需要米取組計画の認定を受けていること。加工用米については加工用米取組計画の認定を受けていること。 取組の要件 ・ 別紙に定める低コスト生産メニューの内、3つ以上に取り組むこと。 取り組み実績を提出すること。 ・ 1 ha以上の団地化を図ること。 ・ 整理番号 1・2 との重複は不可。重複した場合は、当初単価が高い整理番号の支援を優先する。					
取組の確認方法	助成対象者 営農計画書で確認。 対象作物 新規需要米認定結果通知書・加工用米取組計画認定結果通知書により確認。 助成対象水田 営農計画書、現地確認。 取組の要件 取組を確認できる写真、種子や資材の購入伝票、栽培記録や作業日誌の写しの提出により確認。団地化については航空写真等により確認。 出荷・販売 米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米については、新規需要米生産集出荷数量一覧表により確認。加工用米については加工用米生産集出荷数量一覧表により確認。					
成果等の確認方法	・ 取組者が提出する、低コスト生産取り組み実績 ・ 令和6年12月末日までに、新規需要米生産集出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。 ・ 加工用米については加工用米生産集出荷数量一覧表により確認。					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ **令和6年度**から新規に設定した目標については、**令和5年度**の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	4
使途名	生産性向上支援（排水対策）					
対象作物	そば ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	4,000円/10a （上限5,000円/10a）					
課 題	そばについては、一定の需要があるものの、湿害による収量の減少やほ場分散による作業効率の低下等の課題があるため、周囲明渠等の排水対策に取組み、生産性の向上を図る必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・ 取組面積 ・ 単収	目標	13.0ha 62.0kg/10a	2.0ha 45.0kg/10a	2.5ha 50.0kg/10a	3.0ha 55.0kg/10a
		実績	16.4ha 40.0kg/10a	－	－	－
内 容	水田の効率的な利用に向け、そば生産性向上を図るため、具体的要件に定める取組のうち1つを実施した面積に対して助成をする。					
具体的要件	助成対象者 取組の要件 ・ 村内の交付対象水田にて対象作物を作付けする農業者。 ・ 「周囲明渠、溝切、高畝の設置、畝立て播種機の活用」のいずれか1つの実施。 ※溝切については、作付ほ場の地形にもよるが最低2本以上設置すること。 ※対象ほ場における作業実施写真を提出すること。 ・ 整理番号5・6との重複は不可。重複した場合は、当初単価が高い整理番号の支援を優先する。					
取組の 確認方法	助成対象者 助成対象水田 取組の要件 出荷・販売 営農計画書、共済細目書等の書類で確認。 営農計画書及び現地確認、共済細目書等の書類で確認。 作業実施写真、出荷・販売契約書、現地確認等により行う。 水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書により確認。					
成果等の 確認方法	・ 令和6年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。 ※単収＝取組を実施したほ場におけるそばの収量÷取組を実施したそばの総面積					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	5
使途名	生産性向上支援（排水対策）（団地化加算：団地化面積50a以上1ha未満）					
対象作物	そば ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	5,000円/10a （上限6,000円/10a）					
課 題	そばについては、一定の需要があるものの、湿害による収量の減少やほ場分散による作業効率の低下等の課題があるため、周囲明渠等の排水対策に取組み、団地化を進め生産性の向上を図る必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・取組面積 ・単収	目標	-	2.5ha 45.0kg/10a	2.6ha 50.0kg/10a	2.7ha 55.0kg/10a
		実績	-	-	-	-
内 容	水田の効率的な利用に向け、そば生産性向上を図るため、具体的要件に定める取組のうち1つを実施し、個人及び団体にて50a以上1ha未満の団地化を図った面積に対して助成をする。					
具体的要件	助成対象者 取組の要件 ・村内の交付対象水田にて対象作物を作付けする農業者。 ・「周囲明渠、溝切、高畝の設置、畝立て播種機の活用」のいずれか1つの実施。 ※溝切については、作付ほ場の地形にもよるが最低2本以上設置すること。 ※対象ほ場における作業実施写真を提出すること。 ・個人及び団体により50a以上1ha未満の団地化を図ること。 ※団地化 農地が畦畔で接続、農地が農道又は水路等を挟んで接続、農地が隅々で接続し農作業の継続に大きな支障がない場合、以上のどれかを満たし、かつ要件以上の面積の農地で作付すれば対象となる。 ・整理番号4・6との重複は不可。重複した場合は、当初単価が高い整理番号の支援を優先する。					
取組の 確認方法	助成対象者 助成対象水田 取組の要件 出荷・販売 営農計画書、共済細目書等の書類で確認。 営農計画書及び現地確認、共済細目書等の書類で確認。 作業実施写真、出荷・販売契約書、現地確認等により行う。 水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書により確認。					
成果等の 確認方法	・令和6年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。 ※単収＝取組を実施したほ場におけるそばの収量÷取組を実施したそばの総面積					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	6
使途名	生産性向上支援（排水対策）（団地化加算：団地化面積1ha以上）					
対象作物	そば ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	6,000円/10a （上限7,000円/10a）					
課 題	そばについては、一定の需要があるものの、湿害による収量の減少やほ場分散による作業効率の低下等の課題があるため、周囲明渠等の排水対策に取組み、団地化を進め生産性の向上を図る必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・取組面積 ・単収	目標	-	11.9ha 45.0kg/10a	12.5ha 50.0kg/10a	14.5ha 55.0kg/10a
		実績	-	-	-	-
内 容	水田の効率的な利用に向け、そば生産性向上を図るため、具体的要件に定める取組のうち1つを実施し、個人及び団体にて1ha以上の団地化を図った面積に対して加算助成をする。					
具体的要件	助成対象者 取組の要件 ・村内の交付対象水田にて対象作物を作付けする農業者。 ・「周囲明渠、溝切、高畝の設置、畝立て播種機の活用」のいずれか1つの実施。 ※溝切については、作付ほ場の地形にもよるが最低2本以上設置すること。 ※対象ほ場における作業実施写真を提出すること。 ・個人及び団体により1ha以上の団地化を図ること。 ・整理番号4・5との重複は不可。重複した場合は、当初単価が高い整理番号の支援を優先する。					
取組の 確認方法	助成対象者 助成対象水田 取組の要件 出荷・販売 営農計画書、共済細目書等の書類で確認。 計画書及び現地確認、共済細目書等の書類で確認。 実施写真、出荷・販売契約書、現地確認等により行う。 活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼書により確認。					
成果等の 確認方法	・令和6年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。 ※単収＝取組を実施したほ場におけるそばの収量÷取組を実施したそばの総面積					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	7
使途名	作付拡大支援					
対象作物	野菜、花き・花木、その他穀物類（別紙参照） ※基幹作物のみを対象とする。					
単 価	7,000円/10a （上限8,000円/10a）					
課 題	不作付地の抑制と、農家の所得を確保するため、高収益作物である、野菜、花き・花木の生産を振興する。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・作付面積	目標	11.5ha	9.2ha	10ha	11ha
		実績	8.9ha	-	-	-
内 容	不作付地の解消や園芸作物の作付けによる農家所得の向上を目的として対象作物の作付面積に対し定額助成を行う。					
具体的要件	助成対象水田 経営所得安定対策等実施要綱（別紙1）に定める水田。 対象作物 別紙（関川村産地交付金活用方法の園芸作物助成に係る対象作物一覧表）のとおり。					
取組の 確認方法	助成対象者 営農計画書で確認。 助成対象水田 営農計画書及び現地確認、作業日誌等の書類で確認。 出荷・販売 水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書により確認。					
成果等の 確認方法	・令和6年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会				整理番号	8
使途名	生産性向上支援					
対象作物	ユリ（切り花） ※基幹作物のみを対象とする。（別紙参照）					
単 価	7,000円/10a （上限8,000円/10a）					
課 題	現状では、中山間地域という地形的な要因から園芸作物の団地化が進んでいない状況である。 そのため、園芸作物の生産ほ場の団地化を支援し、作業効率をアップさせることにより、園芸作物の生産による所得を拡大する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・団地化面積 ・単収	目標	1.5ha 上位等級8,200 本/10a	1.2ha 上位等級8,250 本/10a	1.5ha 上位等級8,300 本/10a	1.7ha 上位等級8,350 本/10a
		実績	1.1ha 上位等級6,045 本/10a	-	-	-
内 容	振興作物である対象作物の団地化による作付定着化と生産性向上を図るため、対象作物の団地化面積に対して支援する。					
具体的要件	助成対象者 取組の要件	村内の交付対象水田にて対象作物を作付けする農業者。 対象作物の団地化申請書（関川村農業再生協議会様式）を提出すること。 助成対象作物ごとに他の農業者からの受託分を含め30a以上作付けしている場合、団地化して取り組んだ面積を対象とする。 また、1人又は複数の農業者で取組む場合も対象とする。 ※団地化：農地が畦畔で接続、農地が農道又は水路等を挟んで接続、農地が隔々で接続し農作業に大きな支障がない場合、以上のどれかを満たし、かつ要件以上の面積の農地で作付すれば対象となる。 整理番号7との重複は可とする。				
取組の 確認方法	助成対象者 助成対象水田 取組の要件 出荷・販売	営農計画書で確認。 営農計画書、現地確認、作業日誌等で確認。 団地化申請書、ほ場位置図により確認。 出荷・販売伝票又は水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷販売等実績報告書兼誓約書により確認。				
成果等の 確認方法	・令和6年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼 誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。 ※団地化面積＝該当ほ場面積÷対象品目取組者総面積					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

関川村産地交付金活用方法の園芸作物助成に係る対象作物一覧表

関川村農業再生協議会

野菜等

コード	作物名	備考
200	きゅうり	
201	トマト	
202	なす	
203	ピーマン	
204	かぼちゃ	
205	いちご	
206	すいか	
207	メロン	
208	キャベツ	
209	はくさい	
210	長ねぎ	
211	ほうれんそう	
212	ねぎ	
213	たまねぎ	
214	葉ねぎ	
215	レタス	
216	だいこん	
217	にんじん	
218	さといも	
219	れんこん	
220	しょうが	
221	えだまめ	
222	さやいんげん	
223	スイートコーン	
224	食用ばれいしょ	
225	食用かんしょ	
226	アスパラガス	
227	きのこ類	
229	しろうり	
230	とうがらし	
231	オクラ	
232	セロリー	
233	カリフラワー	
234	ブロッコリー	
235	メキャベツ	
236	菜類	
237	シュンギク	
238	セリ	
239	フキ	
240	シソ	
241	ニンニク	
242	ニラ	
243	ラッキョウ	
244	みょうが	
245	食用菊	
246	かぶ	
247	ごぼう	
248	やまいも・自然薯	
249	プチヴェール	
250	さやえんどう	
251	未成熟そらまめ	
252	ウド	
253	加工用トマト	
254	ぜんまい	
255	クワイ	
256	その他湛水性野菜	
257	モロヘイヤ	
258	いちご（越後姫）	
259	長いも	
260	その他山菜類	
262	マコモタケ	
263	ズッキーニ	
264	あさつき	
265	ししとう	
266	ヤーコン	

野菜等

コード	作物名	備考
267	チンゲンサイ	
268	なたね	野菜とするもの
520	こんにゃく	

その他穀物類

コード	作物名	備考
228	ライ麦	

花き・花木

コード	作物名	備考
500	花き・球根類	
507	ユリ（切り花用）	

●低コスト生産支援（整理番号１～３）における取組の一覧と確認書類

取組メニュー	取組内容	確認書類等
直播栽培	湛水直播栽培や乾田直播栽培	①コーティング資材の購入伝票の写し ②取組を確認できる写真 ③作業日誌または栽培履歴
疎植栽培	地域の慣行栽培における移植密度に比べその密度を低くし、移植に要する苗箱数を減らす取組	①取組を確認できる写真 （例：田植え機の株セット部分等） ②作業日誌又は栽培履歴
高密度播種育苗栽培	地域の慣行栽培における育苗での播種密度に比べその密度を高くし、移植に要する苗箱数を減らす取組	①水稻苗購入伝票の写し ②取組を確認できる写真 ③作業日誌または栽培履歴
プール育苗	プール等を設置し、プール内に苗箱を置き、湛水状態で行う育苗	①プール育苗を確認したことが確認できる苗の購入伝票 ②取り組みを確認できる写真 ③プール育苗に使用した資材の導入が確認できる購入伝票の写し
温湯種子消毒	農薬を使用せず、約60℃の温湯に種粒を浸漬し、種子消毒を行う取組	①温湯種子消毒を確認したことが確認できる種子の購入伝票の写し ②取組を確認できる写真
効率的な移植栽培	無代掻き移植栽培、乳苗移植栽培	①取組を確認できる写真 （例：田植え時の写真・田植え直後の写真）
作期分散	作期の異なる複数品種を作付けし、作期を分散する取組 （経営体の水稻生産全体の中での作期分散であり、必ずしも支援対象作物だけで複数品種を作付けし作期分散する必要はない。）	①種子又は苗の購入伝票の写し ②農産物検査証明書の写し
土壌診断を踏まえた施肥・土づくり	土壌診断等に基づく施肥、有機質資材や土壌改良資材の施用 （pH、窒素、リン、カリについて分析を行う土壌診断又は葉色診断の結果に基づいて、肥料や有機質資材、土壌改良資材を施用すること。）	【土壌診断等の確認】 ①土壌診断結果の写し ②葉色診断結果（生育調査記録用）の写し 【施肥・土づくりの確認】 ①資材の購入伝票の写し（堆肥の無償譲渡の場合は引き渡しが確認できる書類） ②取組が確認できる写真
効率的な施肥	流し込み施肥、育苗箱全量施肥、側条施肥、全量基肥施肥	①肥料の購入伝票の写し ②取組を確認できる写真 ③作業日誌又は栽培履歴
効率的な農薬処理	播種同時処理、田植え同時処理	①肥料の購入伝票の写し ②取組を確認できる写真 ③作業日誌又は栽培履歴
多収性品種の導入（米粉用米は除く）	多収性品種の作付け ※対象品種は以下のとおり 新潟次郎・いただき・ゆきみのり・ゆきみらい・にじのきらめき・ちほみのり・ゆきん子舞・つきあかり ※飼料用米については、新潟次郎・いただきのみ	①種子又は苗の購入伝票の写し ②区分管理計画書の写し ③出荷証明書の写し ④農産物検査証明書の写し
コスト低減につながるスマート農業機器の活用	コスト低減につながるスマート農業機器の活用	①スマート農業システム契約書の写し ②機器のリース契約書 ③取組を確認できる写真
農業機械の共同利用	地域における農業機械の共同利用やシェアリングサービスの活用	①共同利用に関する契約書等の写し（利用代金支払伝票などの写し） ②利用台帳の写し ③機械利用組合等の規約・機械利用規定の写し
取組拡大	前年産からの取組を拡大	①前年度及び今年度取組計画書の写し ②営農計画書